

わたしたちは どんなまちを創るのか？

たくさんの人々が暮らす岡谷のまち。
その誰にとっても住みやすい場所として、まちを豊かに
育てていくために欠かせない「まちづくり」。
しかし、まちなかの賑わいが減り、一方では、懐かしい風景が消え、
岡谷のまちは変貌しつつあります。
市民が生き生きと暮らせる岡谷とは？
そして、市民はまちづくりにどう関わればよいのでしょうか？
皆様とともに考えたいと思います。

●とき

平成24年2月12日 13:30~17:00 (開場13:00~)

●ところ

カノラホール 小ホール

(岡谷市文化会館) 長野県岡谷市幸町8-1



◆第1部 基調講演『素敵なまちにするために 私達は何ができるのか?』

講師：倉田 直道氏 (諏訪市出身、工学院大学 建築学部 まちづくり学科 主任教授)

◆第2部 パネルディスカッション

テーマ『岡谷のまちづくりの“これまで”と“これから”』

パネリスト：今井 瑞穂氏 (㈲フキドウ専務取締役)、片倉 隆幸氏 (建築家、片倉隆幸建築研究室代表)、

さとう わきこ氏 (絵本作家、小さな絵本美術館主宰)、新村 邦武氏 (前西堀区長) (五十音順)

コーディネーター：倉田 直道氏



問合せ 岡谷市役所都市計画課計画担当 ☎0266-23-4811 (内線1331)

主催：岡谷市 後援：長野県都市施設協会

講師プロフィール



倉田 直道氏(くらた・なおみち)

工学院大学建築学部まちづくり学科主任教授

1947年、長野県諏訪市生まれ。早稲田大学建築学科卒、同大学院修了。カリフォルニア大学バークレー校大学院アーバンデザインプログラム終了。都市計画連合アトリエ、カリフォルニア大学都市地域開発研究所、HKS アソシエイツ（サンフランシスコ）などを経て、現在、工学院大学教授、アーバン・ハウス都市建築研究所代表。

他に、八王子市景観審議会会長、川崎市都市景観審議会会長、足立区都市景観審議会副会長、杉並区まちづくり景観審議会副会長、港区景観審議会委員、新宿区都市計画審議会委員、茨城県まちづくりアドバイザー、元茅野市行政アドバイザー、日本建築学会都市計画委員会委員・まちづくり支援建築会議運営幹事、日本都市計画家協会理事、NPO 法人まちづくり協会理事、日本建築家協会元都市デザイン部会長などを歴任。

専門は、都市計画、都市デザイン、まちづくり、建築など。全国のまちづくりや都市開発関連の計画策定や駅前広場等の公共空間の設計を行っている。

主な著書に、「新しい交通まちづくりの思想」（共著：鹿島出版社）、「都市史図集」（共著：彰国社）、「都市計画国際用語辞典」（共著：丸善）、「まちづくりデザインのプロセス」（共著：日本建築学会）、「大学と地域の共創まちづくり」（共著：学芸出版社）など。他に、第4回ふるさとの顔づくり設計競技・建設大臣賞、2008年度都市景観大賞・美しいまちなみ優秀賞（島田市おび通り）など受賞。

《講演要旨》

1. 素敵なまちとは？
2. 素敵なまちにするための要素
3. 私達に何ができるか？
4. 市民の可能性と期待